



令和元年10月28日

「わが村は美しくー北海道」運動 ～令和元年度 函館開発建設部独自の企画部門の表彰～

函館開発建設部では、「わが村は美しくー北海道」運動の一環として、当部独自に「企画部門」を対象として、農山漁村地域の活性化に資すると期待できる団体を表彰します。

北海道開発局では、自然的・社会的・歴史的に特徴のある景観を形成してきた北海道の農山漁村がより「美しく」あるため、地域の魅力と活力を高めようとする住民主体の活動を見だし、これを広く発信し、波及させていくことによって、農山漁村の振興に寄与することを目的として、平成14年から2年に一度、「わが村は美しくー北海道」運動コンクールを開催しています。（別紙1）

今年度、当部では独自に「企画部門」を設け、函館地域の農山漁村地域の活性化に資することが期待される活動団体を表彰することとしました。

審査の結果、「北海道大野農業高等学校」（北海道北斗市）を企画部門 優秀賞（地域貢献賞）に決定しました。（別紙2）

つきましては、以下のとおり表彰式を開催しますので、お知らせします。

日時：令和元年10月31日（木）10:00～
場所：北海道大野農業高等学校（北海道北斗市向野2丁目26番1号）
1階 校長室

【「わが村は美しくー北海道」運動とは】

地域住民が主体となり、北海道の農山漁村・農林水産業を通じて地域づくりを行う活動に対して、様々な人たちが「参加しよう」、「広げよう」、「いいもの伝えよう」をキャッチフレーズにこうした活動に関わっていこうとするもので、平成13年度から行っています。

「わが村は美しくー北海道」運動の各種情報は、以下のホームページに掲載しています。
https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g7000000emhm.html

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部

土地改良情報対策官 ひさもと 久本 俊幸 0138-42-7656

土地改良情報係主任 なかや 中谷 隆 0138-42-7656

函館開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/hk/>



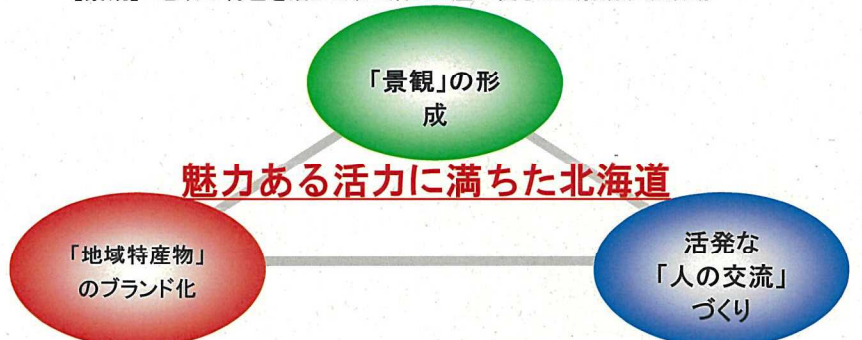


「わが村は美しく-北海道」運動とは

Point

- 北海道の農林水産業をより豊かにすることをめざし、平成13年にスタート
- 道内各地で地域資源を活用して地域を活性化しようとする住民主体の活動に対する支援

【景観】地域の特色を活かし、生活と生産に根ざした景観形成活動



【地域特産物】

地域で生産される農林水産物及びそれらを主として利用した加工品の生産販売活動

【人の交流】

地域の魅力を高めるコミュニティづくりに結びつく都市及び地域内外の人たちとの交流活動

多くの方の協力と連携により運動を推進

支援・応援

北海道田園委員会

学識者、民間企業、報道機関
地方自治体、生産者団体、実践者

- 運動の推進のため、国土交通省北海道局に設置
- 道内外の有識者で構成
- 運動の円滑な推進に対する提言

団体の活動事例

軽トラマルシェで地域振興(絵本の里けんぶち VIVAマルシェ)【剣淵町】



地域ブランド確立や体験観光など持続可能な漁村の構築活動(落石地区マリンビジョン協議会)【根室市】



- **参加しよう**—中心となるのは、**地域に住む人々** 「地域の資源」を見つけよう
- **広げよう**—活動の輪を大きく、**自由に** 地域の個性を競い合い高め合い
- **伝えよう**—北海道の「いいもの」を、**もっと外へ** 地域住民の努力と行動に光をあて、広く伝えよう

取組

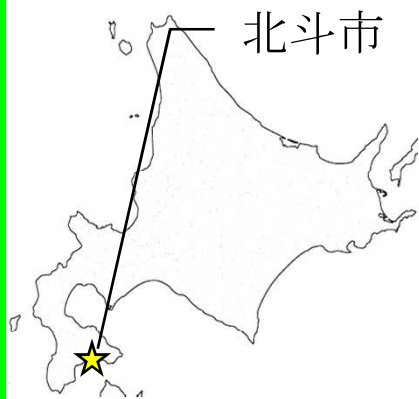
- コンクールの開催 ← 「地域資源」を見つけ、「いいもの」を多くの人に伝えます
- 地域の魅力を高めようとする地域住民の活動をさらに広く伝えて、その活動を支援し波及させます

多くの人に伝えるための取組

- **HPへ掲載** http://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g7000000emhm.html
→活動団体の最新情報を広く発信
- **メールマガジンの配信** →活動団体への情報提供
→活動団体の最新情報を発信
- **JR北海道の車内誌** →「THE JR Hokkaido」への掲載 (JR北海道の協力)
- **地域イベントで活動PR** →地域イベントに参加し団体活動を紹介
- **札幌「チカホ」でPR** →デジタルサイネージで放映(札幌市の協力)
- **facebook(フェイスブック)の取組** <https://www.facebook.com/wagamura>
→活動団体の最新情報を広く発信 (NPO わが村は美しく-北海道ネットワークとの共同運営)

別紙2

優秀賞(地域貢献賞)



大野農高は農業を基礎として各種の専門的技術を取得し社会に貢献していく人材を育てていきます。

命・食・心を育て
生きる力を学ぶ学校



北海道大野農業高等学校

「わが村は美しくー北海道」運動 令和元年度 函館開発建設部企画部門応募団体

北海道大野農業高等学校【北斗市】

農業を基礎に総合的な技術力を磨き、社会のニーズに貢献していきます。

【大野農業高等学校の概要】

北海道大野農業高等学校(野村博之校長)は農業科、園芸科、食品科学科、生活科学科と4科に分かれて学んでいます。農作物の生育管理や酪農・畜産の管理から野菜や果樹等の生産物の加工・流通・販売まで食の一貫した学び(フードシステム)を総合的に行っています。また、地域で生活する方々の変化やその中で何が生きていく上で必要なのか等を学んでおり地域に密着した教育活動を行っています。

【大野農高の特色】

大野農高は全校生徒が「農業とは何か」の基礎をしっかりと学びながら各専門分野に進んでいます。農業は農産物生産だけでなく加工や販売さらには地域で生きがいをもって生活するための心のあり方などすべてが重要です。そのため、生徒は各科でそれぞれの能力やチームワーク力の向上を図りつつ、校内全体の実績発表会で各科の垣根を越えた情報共有を図り、農業全体と個々の果たしている役割を認識し、より現実的・効果的な知識や技術を養っています。

【各学科の内容】

- 農業科: JGAPの認証、スマート農業の導入研究、牛群改良によるエクセレント牛の育成
- 園芸科: 果樹・草花・野菜の生産、ASIAGAPの認証、花いっぱい運動による景観の保全
- 食品科学科: 食の安全安心と付加価値を高めた加工製品の研究開発、北海道HACCP認証
- 生活科学科: 高齢者とのコミュニケーションや農業につながって一生涯に生活していく「農福連携」のあり方等、時代のニーズを的確に捉えた地域連携活動を展開しています。

【2020から新たなスタート】

次年度から大野農高は時代のニーズにあった教育活動がスタートする。学びの基本は農業科学科ー「命」、食品科学科ー「食」、園芸福祉科ー「心」とし、1年生は全員、農業の基礎【命】を学び、2年生は各科に分かれ専門的知識と技術を学び、3年生はキャリアプランに沿った自ら研究の磨きをかけ進学、就職など進むべき道を決定します。

連絡先

代表: 野村博之校長 / 設立: 1937年 / 生徒数: 233名
住所: 北斗市向野2丁目26番1号 北海道大野農業高等学校
電話: 0138-77-8800
FAX: 0138-77-8133
E-mail: m.yamashiro@hokkaido-c.ed.jp (山城教頭先生)
URL: <http://www.oononougyou.hokkaido-c.ed.jp/>